

# めいわ かわら版



めいわ可睡保育園 保育士 **バルビーノアランアキオタニスエ**

**浜** 松にある大学で児童福祉を学んだ後、新卒で社会福祉法人明和会に入職された谷末秋男さん。現在はいわ可睡保育園で、3歳児を受け持つ保育士として活躍されています。入職までのエピソードや、念願の職業に就いた所感、意外な生い立ちと今後の目標についてお聞きしました。

「明和会に就職が決まるまでの経緯と、魅力を感じた点をお聞かせください。」

以前から「子どもに関わる職業に就きたい」という、漠然とした思いを抱いていました。高校3年生で進路を決めるにあたり、地元の浜松で児童福祉関連の資格が取得できる大学を目指して、無事入学。その大学で明和会の八谷理事長による講義を受けるうちに、明和会に興味を抱くようになったのです。

明和会では保育園にとどまらず、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設運営をおこない、各施設

だ、記憶の片隅に「不思議な言葉と話している先生がいたな」と残っていたら、嬉しい気持ちになりますね。

「今後の目標をお聞かせください。」

いずれは年長クラスを受け持ち、子どもたちを保育園から小学校へと送り出すところまで見届けたいと思っています。そのためにもさまざまな年齢のクラスを受け持つ経験を増やしていきたいです。

若さみなぎる谷末さんの活躍は、まだまだはじまったばかりです。

「谷末さんはブラジル生まれでポルトガル語が堪能、と伺いました。それに関連するエピソードなどありましたら、お話しいただけますか。」

3〜4歳までブラジルで暮らし、その後は母の祖国である日本に移住しました。ブラジルの記憶はほとんどありませんが、家庭内での会話はポルトガル語だったため、今でも会話はできますよ。以前受け持っていたクラスにブラジル系の子がいて、保護者の方が困った際には通訳して感謝されたものです。

私がポルトガル語で話していると、ほかの子どもたちは不思議そうな表情で見つめてきます。子どもたちはいずれ卒園し、小学校、中学校と上がるにつれて楽しいことがどんどん増えていく。すると、記憶が徐々に書ききれず、保育園時代の思い出は薄れていくでしょう。「その瞬間」の楽しいことを優先してほしいと思っていますので、私のことは忘れてしまっても構いません。た

目は分らないことばかり。2年目はそこまではなかったものの、何度も迷い、悩む場面がありましたね。周囲のベテランの先輩に指導していただいたおかげで、なんとか仕事に取り組めたと思っています。3年目は年中クラスの4歳児を一人

担任で受け持ちました。頼りになる先輩が周囲にたくさんいましたが、保育活動の内容や目標は自分だけで考えないといけません。それでも、子どもたちが私の名前を呼び、「一緒に遊ぼう」「これを一緒にやって」と声をかけてくれるたびに嬉しく、救われる思いがしました。保護者の方から「家でも秋男先生の話をしていますよ」といわれることもあり、大きなやりがいにつながっています。

保育士は、人とのコミュニケーションが多い仕事です。子どもだけではなく、保護者、職員と日々接して、ときには悩むこともあります。しかし、それも「人生経験として自分の糧になっている」とポジティブに捉えています。

ではさまざまな分野の専門職員が働いています。「入職後に自分の知らないことをたくさん学べるのは」という期待もあり、就職を決めました。

「実際に仕事を始めて、どのような感想を抱きましたか。」

1〜2年目は複数担任の一人として仕事を覚えていきました。1年



# 新型コロナウイルス感染症の対策について

日々、全国で1000人以上の新規感染者の報告がなされています。県西部地区においてもクラスターの発生や、その関連による一時的隔離など2月から始まった新型コロナウイルス感染の問題はまだ世界的にも先の見えない状況です。「自粛疲れ」という言葉が定着しつつあり、地域によっては「規制緩和」「経済優先」の声も聞かれますが、我々福祉の立場では、まだまだ気を抜くわけにはいきません。むしろ本番はこれからです。

このような緊張を強いられる状況ですが、同時に今までから学んだこともたくさんあります。それはむやみに恐れる必要はないということです。感染しない、広めないために、やらなければいけないこと、やってはいけないことを学んだということです。

明和会としては、これまで利用者や職員に感染者を出すことなくいられたのは皆さんのおかげと感謝しています。これからも引き続き感染症対策に留意していきましょう。

## 3密とは

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発声する密接場面



## 引き続き感染症対策 (基本原則 3密防止)

手洗い・検温・体調不調時の電話連絡  
感染多発地域への不要不急の外出  
クラスター化している夜の街、劇場・スポーツジムなどの利用などを控える。  
友人・知人との会食も当面の間は控える。  
遠隔地に出かけない、来た人に会わない。

## 職場の感染予防対策

マスクの着用  
スイッチ・キーボード類の消毒  
外来者やボランティアの出入りの制限  
10人以上の会議の原則禁止  
やむを得ない会議はリモート開催  
室内の換気や職員機の距離の確保・スクリーン遮断  
感染防止グッズ(マスク・消毒液・防護服)の確保  
社用車のハンドル等の消毒  
現金を取り扱った際は必ず直ちに手洗い・触れたものを消毒



## 職員が体調不調になった場合

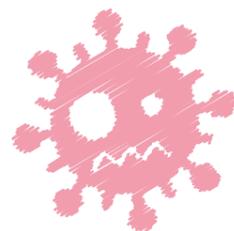
(発熱や風邪症状が4日以上続く、味覚・嗅覚異常)

所属の施設長宛電話で連絡(連絡なしでの出勤禁止)

施設長は本部労務担当者宛てに詳細について報告

本部労務担当者から産業医に連絡し、指示を仰ぐ

産業医と協議の結果、様子見や通院の指示が出る場合やPCR検査の実施について指示を出す



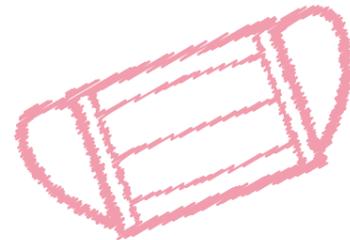
## 予想される事態について

施設利用者が感染した場合 ▶ 施設利用者と職員は濃厚接触者扱いとなります。

※入所施設(袋井学園・あきは寮・明和苑・可睡寮)で感染者が出た場合は、保健所の管轄下に入り施設内隔離が予想されます。

職員 ▶ 職員はPCR検査を受けて、自宅待機か入院

利用者への支援・介護 ▶ 法人内他の施設の営業を停止し、その職員が入所施設の勤務



## 通所施設や相談事業所から感染者が出た場合

事業所を閉鎖し、濃厚接触者はPCR検査、職員は入院又は自宅待機

明和ふかみの里入居者、オランチ利用者が感染した場合 ▶ 入院

濃厚接触者 ▶ PCR検査を行い、陰性者は各施設で待機、陽性者は入院。

## 利用者が利用している事業所で感染の可能性がある場合

既に利用している場合 ▶ 所属グループの確認及び濃厚接触者の確認  
利用を控えていただく旨の連絡(食堂の位置など)

明日以降の利用キャンセルの連絡  
(短期入所、日中一時支援)  
短期入所、日中一時支援で帰宅する利用者は、延長利用  
できる場合はしてもらう(食事は施設負担)  
食堂の消毒

濃厚接触した職員については、結果が出るまで自宅待機

利用していない場合 ▶ 利用を控えていただく旨の連絡  
健康管理(体温、味覚、嗅覚等の確認)

## 結果

陽性の場合 ▶ 濃厚接触者は、産業医にて唾液PCR検査を実施し結果が出るまで、自宅待機とする。  
結果陰性の場合、結果が出た次の日から出勤可能とする。  
陽性の場合、保健所の指示に従う。

陰性の場合 ▶ 陰性の結果が出た次の日から出勤可能とする。

今後もし法人で陽性者が出た場合は、保護者や職員などに不安や誤解を招かないようにするため正しい情報公開を行なっていきます。

そうならないためにも職員の皆さんには、くれぐれも人ごみに出ない。外出を控えることで自分の健康と家族の健康、職員皆さんの暮らし、利用者の命を守る、自分の職場を守ることに直結していることを肝に銘じましょう。

